

## 医療DXの今後の展開



演者

**上田 尚弘 氏**

**デジタル庁  
参事官**

データ駆動型社会が実現されつつある今、ライフログデータとしての“PHR（Personal Health Record）”は、これからの社会・医療課題の解決に欠かすことができません。一方、プラットフォームとしての“PHR”は、ライフログデータのみならず医療データやマイナポータルデータ等を含む生活者個人の医療ヘルスケアデータ統合プラットフォームの役割を果たし、これからのデータポータビリティ社会において、どれほど重要な存在となるか…容易に想像できるでしょう。

本年度、全11回で月次開催する「Welby Lunch Session」では、データポータビリティ社会の実現に向け、医療・ヘルスケア領域における豊富な知見と実績を持つプロフェッショナルをお招きし、PHRデータ流通のビジネスへの応用に関する法令の解説や、安全なデータ流通のための新技術、さらに具体的なソリューションや事例を示しながら、医療DXの先にある社会と生活者の姿についての展望を皆様にお届けします。

第23回は、マイナ保険証への本格的な移行が昨年12月になされ、今後医療DXの更なる進捗が期待されている中で、そのカギとなる電子カルテの普及について、検討状況や取り組みの意義も含めて、国の動きをご紹介します。

日 時

**2026年 2月 25日（水）  
12:05 ～ 12:55**

場 所

**ZOOM開催**

参加費

**無料**

※申込締切：2026年 2月 24日（火）17:00まで

お申込みは**下記の二次元コードを  
クリック**または**読み取り**ください

